

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	消耗品、物品修繕	323	需用費	消耗品、物品修繕	380	需用費	消耗品、物品修繕	361
役務費	電話料金等	596	役務費	電話料金等	499	役務費	電話料金等	612
委託料	管理運営委託（4館）	24,722	委託料	管理運営委託（4館）	24,690	委託料	管理運営委託（4館）	24,991
委託料	保守委託・清掃委託等	1,824	委託料	保守委託・清掃委託等	1,651	委託料	保守委託・清掃委託等	2,090
使用料等	AEDリース料	178	使用料等	AEDリース料	178	使用料等	AEDリース料	184
備品購入費	事業用備品	490	備品購入費	事業用備品	96	備品購入費	事業用備品	500
負担金補助等	清掃分担金	3	負担金補助等	清掃分担金	3	負担金補助等	清掃分担金	3

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	施設の稼働率(%)	58.4	56.5	56.3	57.1	58.0	貸室も含めた部屋の稼働率 (全館平均)
②							
③							

（問題点・課題分析）	施設や設備の老朽化により、修繕費用が増加していることや付帯設備の不備などから利用者の期待に応じられないことがある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） 他区においても、施設の管理運営に必要な経費として計上している。
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	サービス水準を維持し、利用者の要望にそったひろば館運営が行えるよう、施設管理や設備の改善を実施する。	定期的に点検を行い、適切な設備の維持・管理を行うとともに、直営館と委託館の連携を図りサービス水準の維持に努めた。	利用者ニーズにあった事業運営を行っていき、施設の適正な管理を行っていく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	高齢者レクリエーション事業を実施していく上で、必要な施設の管理運営経費である。

況議会（要質問状）	
-----------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	03-03-11	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	高齢者レクリエーション事業費	部課名	区民生活部地域振興課	課長名
		担当者名	西谷	内線
				2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-01	高齢者レクリエーション事業費		
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業
開始年度	●昭和 ○平成 38年度		根拠	老人福祉法、荒川区ひろば館条例・同施行規則
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	I 生涯健康都市		
	政策	02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		
	施策	01 高齢者の社会参加の促進		
目的	高齢者に対して教養の向上及びレクリエーションの場を提供し、高齢者の心身の健康増進を図る。			
対象者等	満60歳以上の者			
内容	<p><対象施設></p> <p>(1)直営館 荒川六丁目ひろば館、東尾久小沼ひろば館、西尾久みどりひろば館</p> <p>(2)委託館 三河島ひろば館、町屋二丁目ひろば館、東尾久三丁目ひろば館、諏訪台ひろば館</p> <p><事業内容></p> <p>(1)文化教養及びレクリエーション事業 各種教室（書道、民謡、詩吟等）や各種サークル活動（カラオケ、ソーシャルダンス等）を行うことにより仲間づくりや自主的な活動、さらに生きがいを持って豊かな生活を送れるよう援助する。</p> <p>(2)各種行事～地域別演芸大会、文化祭等でひろば館利用者相互の交流を図る。</p> <p>(3)世代間交流事業、健康増進事業～平成12年度から各地域で実施</p> <p>(4)健康器具（高圧電界保健装置等）設置</p> <p>※入浴サービス及び生活・健康相談については平成14年度に廃止</p>			
経過	<p>昭和38年7月1日に開所された瑞光ひろば館（旧南千住福祉館）を最初にその後19館が老人福祉館として開所された（昭和53年の西尾久みどりひろば館開所が最後）。</p> <p>昭和63年の「効率的な荒川区政を進めるための懇談会（効率懇）」答申を受けて、「区民ひろば構想」を開始した。</p> <p>かつて、地域活動のための場の提供や、窓口事務をはじめとする様々なサービスは、出張所や児童館、老人福祉館など、いわゆるタテ割り行政組織のなかで運営され提供されていた。</p> <p>こうした体系を、①地域公共施設の管理運営②住民活動や区政参加の促進③行政窓口事務のサービス提供、など地域に係る行政の統合、一本化して行う組織を各地域で対応できるように、5課を設置して地域行政の統合化を図り、さらに平成16年度から5課を一本化、全地域を一括して管理運営を行うこととなった。平成27年4月1日現在、直営館3館、委託館4館、計7館。</p>			
必要性	高齢者を対象とした踊りや歌など各種事業を行うことにより、高齢者の生きがいを創出する。			
実施方法	(1直営) (直営の場合 ○常勤 ●非常勤 ○臨時職員)			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		63,679	60,656	62,417	46,974	36,267	31,453
①決算額（27年度は見込み）		62,043	61,738	61,406	42,116	33,892	29,732	32,759
②人件費等		26,030	16,884	12,428	3,135	1,248	27,772	
③減価償却費			12,637	13,529	2,743	507	29,747	
【事務分担当】（%）		715	435	435	85	15	915	
合計（①+②+③）		88,073	91,259	87,363	47,994	35,647	87,251	32,759
特定財源	国		90	74	0			
	都		25,213	26,663	19,727	12,131	12,195	11,618
	その他		606	690	555	431	366	374
一般財源		88,073	65,350	59,936	27,712	23,085	74,690	20,767
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	入館者数（事業参加者を含む）	97,265	96,811	93,869	78,244	65,338	66,845	69,971

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	ひろば館推進員報酬	22,078	報酬	ひろば館推進員報酬	19,352	報酬	ひろば館推進員報酬	21,680
共済費	ひろば館推進員社会保険料	3,136	共済費	ひろば館推進員社会保険料	2,853	共済費	ひろば館推進員社会保険料	3,067
賃金	臨時職員賃金	197	賃金	臨時職員賃金	916	賃金	臨時職員賃金	1,092
需用費	消耗品費・光熱水費	6,401	需用費	消耗品費・光熱水費	6,611	需用費	消耗品費・光熱水費	6,920
償還金利子等	包括補助事業補助金返還金	2,080						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	事業参加率（%）	41.0	38.7	40.8	43.0	45.4	事業参加人数／入館者数
②							
③							

（問題点・課題分析）	利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。 地域のふれあい館事業との連携についても、さらに検討していく必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） 他区においても、高齢者を対象とした同目的の事業は行っている。

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新しい利用者が参加しやすい事業の実施を図る。	演芸大会の開催など、利用者の活動発表の場を設け、新たな利用者が参加しやすい環境を確保した。	利用者の要望に沿った事業運営を行い、だれでも気軽に利用できるよう周知していく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	高齢者の生きがいくりの機会拡大に寄与している。

況議会（要質問状）	19年 一定 利用基準を緩和し、地域ニーズに合わせた利用拡大について
-----------	------------------------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	03-03-12	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事																																														
事務事業名	営繕費(高齢者事業館)	部課名	区民生活部地域振興課	課長名	岸																																													
		担当者名	西谷	内線	2531																																													
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(27年度)	01-03-01	営繕費(高齢者事業館)																																																
	01-03-98	営繕費(高齢者事業館・計画工事)																																																
事務事業の種類	○新規事業 (○27年度 ○26年度)		○建設事業	●それ以外の継続事業																																														
開始年度	●昭和 ○平成 38年度		根拠																																															
終期設定	○有 ●無 年度		法令等																																															
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画																																														
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市																																															
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成																																															
	施策	01	高齢者の社会参加の促進																																															
目的	区民がより効果的で快適に3号事業(高齢者の心身の健康増進を図る事業)ひろば館を利用できるよう、施設の修繕・改修工事を行う。																																																	
対象者等	ひろば館(高齢者事業館)																																																	
内容	<p><対象施設></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名</th> <th style="width: 15%;">称</th> <th style="width: 15%;">竣工年月</th> <th style="width: 15%;">延床面積</th> <th style="width: 40%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三河島ひろば館</td> <td></td> <td>昭和46年 3月</td> <td>272㎡</td> <td>木造モルタル塗り2階建</td> </tr> <tr> <td>荒川六丁目ひろば館</td> <td></td> <td>昭和46年 3月</td> <td>277㎡</td> <td>木造モルタル塗り2階建</td> </tr> <tr> <td>町屋二丁目ひろば館</td> <td></td> <td>昭和44年11月</td> <td>165㎡</td> <td>木造モルタル塗り2階建</td> </tr> <tr> <td>宮の前ひろば館</td> <td></td> <td>昭和44年 3月</td> <td>332㎡</td> <td>鉄筋コンクリート造4階建 (平成24年度から無人館)</td> </tr> <tr> <td>西尾久みどりひろば館</td> <td></td> <td>昭和48年 4月</td> <td>275㎡</td> <td>都営西尾久四丁目アパート敷地内</td> </tr> <tr> <td>東尾久三丁目ひろば館</td> <td></td> <td>昭和52年11月</td> <td>287㎡</td> <td>鉄骨造2階建</td> </tr> <tr> <td>東尾久小沼ひろば館</td> <td></td> <td>昭和51年 7月</td> <td>303㎡</td> <td>鉄骨造2階建</td> </tr> <tr> <td>諏訪台ひろば館</td> <td></td> <td>昭和50年 4月</td> <td>302㎡</td> <td>鉄骨造2階建</td> </tr> </tbody> </table>					名	称	竣工年月	延床面積	備 考	三河島ひろば館		昭和46年 3月	272㎡	木造モルタル塗り2階建	荒川六丁目ひろば館		昭和46年 3月	277㎡	木造モルタル塗り2階建	町屋二丁目ひろば館		昭和44年11月	165㎡	木造モルタル塗り2階建	宮の前ひろば館		昭和44年 3月	332㎡	鉄筋コンクリート造4階建 (平成24年度から無人館)	西尾久みどりひろば館		昭和48年 4月	275㎡	都営西尾久四丁目アパート敷地内	東尾久三丁目ひろば館		昭和52年11月	287㎡	鉄骨造2階建	東尾久小沼ひろば館		昭和51年 7月	303㎡	鉄骨造2階建	諏訪台ひろば館		昭和50年 4月	302㎡	鉄骨造2階建
名	称	竣工年月	延床面積	備 考																																														
三河島ひろば館		昭和46年 3月	272㎡	木造モルタル塗り2階建																																														
荒川六丁目ひろば館		昭和46年 3月	277㎡	木造モルタル塗り2階建																																														
町屋二丁目ひろば館		昭和44年11月	165㎡	木造モルタル塗り2階建																																														
宮の前ひろば館		昭和44年 3月	332㎡	鉄筋コンクリート造4階建 (平成24年度から無人館)																																														
西尾久みどりひろば館		昭和48年 4月	275㎡	都営西尾久四丁目アパート敷地内																																														
東尾久三丁目ひろば館		昭和52年11月	287㎡	鉄骨造2階建																																														
東尾久小沼ひろば館		昭和51年 7月	303㎡	鉄骨造2階建																																														
諏訪台ひろば館		昭和50年 4月	302㎡	鉄骨造2階建																																														
経過	経過については、高齢者レクリエーション事業費を参照。																																																	
必要性	ひろば館(高齢者事業館)の管理運営を行うため、施設の維持管理が必要である。																																																	
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員)																																																	

(単位:千円)

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		4,421	3,094	8,662	20,667	25,394	1,584
①決算額(27年度は見込み)		4,293	2,735	7,324	20,258	24,902	1,518	2,156
②人件費等		1,629	1,744	2,117	2,478	2,495	2,318	
③減価償却費			581	778	968	1,014	975	
【事務分担当】(%)		20	20	25	30	30	30	
合計(①+②+③)		5,922	5,060	10,219	23,704	28,411	4,811	2,156
特定財源の推移	国							
	都							
その他								
一般財源		5,922	5,060	10,219	23,704	28,411	4,811	2,156
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	家屋修繕経費(千円)	3,470	2,735	2,484	2,085	1,846	1,518	2,156
	工事請負費	—	—	4,840	18,172	21,000	—	—

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	旧東日暮里二丁目ひろば館解体工事	21,000	需用費	ひろば館修繕	1,518	需用費	ひろば館修繕	2,156
委託料	旧東日暮里二丁目ひろば館跡地測量委託	2,056						
需用費	ひろば館修繕	1,846						

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

問題点・課題 (指標分析)	施設・設備の老朽化により、今後、修繕件数の増加が見込まれ、修繕経費の増加が課題である。 中長期改修実施計画の第1期1年目優先順位評価対象施設である東尾久三丁目・東尾久小沼ひろば館の改修のほか、多くのひろば館において老朽化による施設の維持が課題である。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） 他区においても、施設の維持に必要な修繕経費として計上している。
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	荒川区公共建物中長期改修実施計画に基づき適正な改修を行っていく。	トイレやエアコン等の故障に迅速に対応し、利用者が快適に利用できるように努めた。	中長期改修実施計画の第1期1年目優先順位評価対象施設である東尾久三丁目・東尾久小沼ひろば館について改修が必要である。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	高齢者レクリエーション事業を実施していく上で、必要な施設の維持管理経費である。

況議 会 (要 質 問 状)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	07-01-20	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	老人福祉センター管理運営	部課名	福祉部福祉推進課	課長名
		担当者名	早川	内線
				2618
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-01-01	老人福祉センター事務費		
	01-01-97	営繕費		
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	○それ以外の継続事業
開始年度	●昭和 ○平成 45年度		根拠	荒川区立荒川老人福祉センター条例・施行規則
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市	
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成	
	施策	01	高齢者の社会参加の促進	
目的	高齢者が、老人福祉センターにおける生活相談・健康相談・機能訓練や各種行事・講座・教室へ参加することで、住み慣れた地域の中で教養を高め、明るく豊かな高齢期を過ごすことができるようにする。			
対象者等	満60歳以上の方			
内容	[住 所] 荒川区荒川1-34-6 [敷地面積] 777.68㎡ [延床面積] 2,021.17㎡ [構造] 地下1階地上4階建 [施設内容] 機能訓練室・相談室・いこい室・娛樂室・茶室・浴室・会議室等 ①生活相談（介護・福祉・就労等、生活全般の相談） ②健康審査・相談（嘱託医による問診・血圧測定などの健康審査） ③機能訓練（脳卒中などによる後遺症や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象） ④入浴サービス（各定員30名、午後1時～3時、火曜（男性）、水曜（女性）、土曜（男女隔週）） ⑤各種行事（新春行事・文化祭行事・高齢者福祉週間行事・吟詠大会・荒川区高年者芸能大会等） ⑥各種教室・定例事業（書道・墨絵・ヨガ・太極拳・フラダンス等・茶道・あみもの・英会話・華道・詩吟・朗読・絵てがみ・硬筆・そろばん・体操・コーラス・俳句・公開講座等） ⑦いこい室事業（お楽しみマージャン・カラオケ・民謡・踊り・各種大会等）			
経過	昭和45年12月1日開設。 平成6年12月1日全面改築に合わせて荒川老人福祉センターと荒川東部在宅高齢者通所サービスセンターを併設した高齢者センターとして開設。 平成7年4月より荒川区社会福祉協議会に管理運営を委託。			
必要性	一人暮らし等に伴う孤独感の解消や介護予防の推進とともに、仲間づくり、生きがいの創出、社会参加の機会確保という観点からも、高齢者向けに各種相談・行事・講座・教室等を実施する施設が必要である。			
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 社会福祉法人荒川区社会福祉協議会を指定管理者として荒川老人福祉センターの管理運営を委託する。			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	国 都 その他	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		特定財源 一般財源						
予算額		65,670	73,005	61,522	62,320	70,706	123,368	64,644
①決算額（27年度は見込み）		57,984	64,623	59,801	60,256	60,850	107,676	64,644
②人件費等		896	1,570	1,661	1,375	1,392	1,236	
③減価償却費			523	715	655	676	520	
【事務分担量】（%）		25	18	25	20	20	16	
合計（①+②+③）		58,880	66,716	62,177	62,286	62,918	109,432	64,644
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	生活相談・健康審査・健康相談延べ件数	4564	5570	5413	6500	5543	4772	5500
	機能訓練・入浴延べ人数	3629	3819	4049	3813	3539	3312	4000
	各種行事・各種教室延べ人数	15003	18080	17565	16496	17371	18167	18000
	いこい室・会議室延べ人数	20277	19917	21802	22458	23906	20905	21000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	人件費	36,508	委託料	人件費	37,028	委託料	人件費	46,222
	管理費	12,680		管理費	18,428		管理費	11,855
	事業費	6,186		事業費	6,414		事業費	6,567
工事請負費	浴室改修工事	5,476	委託料	空調設備改修工事設計委託	2,408			
			工事請負費	空調設備改修工事	43,398			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 生活相談・健康審査・健康相談・機能訓練・入浴(%)	19.5	18.7	18.5	19.0	19.0	総入館者数に対する事業等参加人数の割合
	② 各種行事・各種教室(%)	31.3	29.2	41.7	35.0	35.0	総入館者数に対する事業等参加人数の割合
	③ いこい室・会議室(%)	42.6	49.3	47.9	48.0	50.0	総入館者数に対する事業等参加人数の割合

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に重点を置いた事業を実施していく必要がある。 ・年々入館者数が増えてきており、幅広い年齢層に対応する必要がある。各種教室について、利用状況を確認しながら更新を行い好評であるため、引き続き利用者の声を聞きながら取り組む。 ・施設の老朽化が目立ってきている。各設備については「荒川区公共建築物中長期改修計画」に基づき、適切に改修する。
	他区の実況 （実施 19 区 未実施 3 区 不明 0 区） 実施の19区（老人福祉センターがある区） （千代田区、港区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	介護予防に重点を置くよう、老人センターの事業について実施する。	介護についての予備知識や介護保険制度の周知のための講座を実施した。	高齢者の健康保持・予防に関してより充実した情報提供や講座等を実施する。
②	各種教室について、利用者の声を聞きながら、ニーズにあった教室・講座をひらく。	利用者アンケートや受講者アンケートの結果を踏まえ、スマートフォンの講座の実施回数を増やした。	引き続き、各種教室について、利用者の声を聞きながら、ニーズにあった教室・講座を実施する。
③	修繕が必要な設備については、指定管理者と連携の上、優先順位をつけて対応していく。	空調設備改修工事を実施した。	「中長期改修計画」に基づき、各設備の修繕について確実に対応する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者が自発的に介護予防を実践できるよう、魅力ある事業の展開と介護予防の啓発を図る。

況議 （要 質 問 状）	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	07-03-01	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	高年者クラブ助成事業		部課名	福祉部高齢者福祉課	課長名	谷井	
			担当者名	村山	内線	2667	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-03-01	高年者クラブ助成事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 33年度		根拠	・荒川区高年者クラブ助成金交付要綱			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	・荒川区高年者クラブ連合会助成金交付要綱			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	I 生涯健康都市					
	政策	02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成					
	施策	01 高齢者の社会参加の促進					
目的	区内各地域において、ボランティアや健康増進等の活動を行っている単一高年者クラブ及び高年者クラブ相互の連絡調整等を行う連合会に対し、その運営費の一部を助成することにより、高齢者福祉の向上に資する。						
対象者等	高年者クラブは、概ね60歳以上の者30人以上により構成される。連合会は、区内単一高年者クラブで構成する。						
内容	(1)単一高年者クラブへの助成 ・基本助成金 人数割 ※クラブ数は78(27年4月1日現在) ①30～50人まで 月額20,000円(9クラブ) ②51～100人 月額22,000円(31クラブ) ③101～150人 月額24,000円(36クラブ) ④151人以上 月額26,000円(2クラブ) ・特別助成金 1クラブ 50,000円 (2)連合会への助成 2,890,000円 ①高年者クラブ連合会事務費補助810,000円 ②交流交際費1,000,000円 等 *社会福祉協議会・東京都老人クラブ連合会からの補助もあり (3)高年者社会奉仕団助成金100,000円(チューリップ花壇整備) (4)高齢者スポーツ普及事業222,000円(NPO高年者クラブ連合会へ委託)						
経過	・単一クラブには昭和33年度から、連合会には昭和37年度から助成 ・平成10年度 それまで社協が実施していた特別助成金を高齢者福祉課に移管した。 ・平成12年度 高年者クラブに係る小規模補助金を統合(旧社会奉仕団助成事業補助金等) ・平成14年4月 荒川区高年者クラブ連合会が、NPO法人格を取得。 特別助成金を1団体あたり年間80,000円とした(1万円の減) ・平成21年4月 『高年者クラブ運営基準[会員]』『高年者クラブ連合会運営基準[活動について]』の一部改正 ・平成25年度 単一クラブに対する助成金(基本助成金・特別助成金)の改正及び交流交際費の新設 平成24年度まで①100人以下月額21,000円②101～150人月額22,000円③151～200人月額23,000円 ④201人以上月額24,000円 特別助成金1クラブ80,000円						
必要性	区内各地域において、社会奉仕、友愛及び健康増進等の活動を行っており、韓国済州市との国際交流など、区の交流事業にも貢献している。単一高年者クラブ及び連合会の活動に対し、運営費の一部を助成することにより、地域の活性化と高齢者福祉の向上に寄与しており必要性は高い。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員) 高齢者スポーツ普及事業については、NPO法人荒川区高年者クラブ連合会へ委託						

(単位：千円)

予算・決算額等の推移	国 都 その他	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		高年者クラブ助成	2,872	2,863	2,852	2,843	2,835	2,861
特定財源								
一般財源		32,529	35,201	34,664	34,842	35,694	34,159	27,581
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	クラブ数(4月1日現在)	80	80	80	80	80	81	78
	会員数(4月1日現在)	8134	7929	7682	7478	7302	7222	6910

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	単一クラブ、連合会助成	28,784	旅費	随行旅費	5	旅費	随行旅費	10
委託料	スポーツ普及事業委託	367	委託料	スポーツ普及事業委託	211	需用費	消耗品購入	6
旅費	随行旅費	7	負担金補助等	単一クラブ、連合会助成	27,564	委託料	スポーツ普及事業委託	222
需用費	消耗品費	4				負担金補助等	単一クラブ、連合会助成	30,204

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	クラブ数	80	80	81	78	80	クラブ数(各年度4月1日現在)
②	会員数	7478	7302	7222	6910	7308	会員数 (各年度4月1日現在)
③	加入率	12.76	12.08	11.91	11.34	12.0	会員数÷60歳以上人口×100

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラブとも会員数が減少しており、会員獲得に苦勞している。特に60～65歳代の会員が少なく後継者の育成が課題である。 ・全国老人クラブ連合会では、26年度から5か年計画で、老人クラブ「100万人会員増強運動」を推進しており、東老連においても数値目標定め、市区町村老連に取り組みが求められている。 ・平成27年度からの「新地域支援事業」において、高年者クラブの今までの活動に加え、今後の取り組みが期待されている。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） 助成基準を細分化している区(30人～400人以上) 17区 会員数に応じた助成額設定の区 千代田・新宿・品川・板橋 一律助成（1クラブ月額22,800円） 渋谷区

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	若手の高年者クラブの立ち上げや、空白地域での新規立ち上げに協力する。	26年度1クラブ新規立ち上げ	引き続き実施する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	団塊世代の受け皿となるよう、60歳代を中心とした単一クラブの結成を促し、連合会の活動の活性化を図よう支援する。

況議 （要 質 問 状）	14年二定 元気高齢者づくり方策について
--------------------------	----------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	07-03-02	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	高齢者生きがい事業補助（シルバー大 学）	部課名	福祉部高齢者福祉課	課長名	谷井	担当者名	渡部
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（27年度）	01-03-02	高齢者生きがい事業補助					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 12年度		根拠	荒川区高齢者生涯学習団体補助金交付要綱			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価 事業体系	分野	I 生涯健康都市					
	政策	02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成					
	施策	01 高齢者の社会参加の促進					
目的	高齢者の教養文化活動を奨励するため、高齢者を対象とした教養講座や趣味講座等の文化活動を行う民間団体に対し、その運営経費の一部を助成することにより、高齢者の知的活動と新しい仲間との出会いを促進し、活気に満ちた健康で文化的な生活の実践を支援する。						
対象者等	◎60歳以上の者を対象とする団体 ◎50人以上の会員を有する団体 ◎社会教育団体又は学習団体として教育委員会に登録している団体 ◎運営のための事務局員を配置していること、または事務局を配置して一元的に事務処理している団体						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費 事務局職員の賃金又は賃金の支払いが無い場合は事務処理上の備品購入費、消耗品費、郵便料、電話料金、旅費 ・補助金交付額 教室受講者延人員と補助対象経費に応じて最大160万円まで 						
経過	<p>平成12年度 新規事業として開始</p> <p>平成14年度 補助金交付要綱一部改正 対象団体 会員数200人以上→50人以上 事務職員を配置していること→事務局を配置又は事務局を設置していること</p> <p>対象経費 事務局職員の賃金→事務局職員の賃金又は事務処理上の経費</p> <p>補助額 会員数に応じて80万円まで→会員数に応じて160万円まで</p> <p>平成17年度 補助金交付要綱一部改正 補助率見直し（一律1/2） 補助額 会員数に応じて160万円まで→教室受講者延人員に応じて120万円まで</p> <p>平成19年度 補助金交付要綱一部改正 補助対象経費が240万円を超える場合は160万円</p>						
必要性	高齢者の社会参加や教養文化活動の奨励は、高齢者が生き生きと充実した生活を送るうえで非常に重要なことである。高齢者を対象とした教養講座や趣味講座等を行う団体にその運営経費の一部を助成することは、高齢者の生きがいづくりの機会拡大につながり、必要性は高い。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 予算の範囲内で、団体の文化教養活動に要した経費の一部を補助する。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	国 都 その他	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,867
①決算額（27年度は見込み）	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,771	1,816	
②人件費等	407	262	254	661	665	773		
③減価償却費		87	93	262	270	325		
【事務分担量】（%）	5	3	3	8	8	10		
合計（①+②+③）	2,007	1,949	1,947	2,523	2,535	2,869	1,816	
特定財源	高齡社会対策包括補助	800	800	800	800	800	800	800
一般財源		1,207	1,149	1,147	1,723	1,735	2,069	1,016
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	補助団体数	1	1	1	1	1	1	
	会員数(4月1日現在)	860	901	941	908	864	901	
	教科数(教室数)(4月1日現在)	25(31)	26(34)	27(34)	27(35)	29(37)	29(37)	
	登録受講者数(4月1日現在)	1222	1315	1387	1416	1404	1450	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	補助金	1,600	委託料	清掃	171	委託料	清掃	216
			負担金補助等	補助金	1,600	負担金補助等	補助金	1,600

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	補助対象団体の会員数（人）	908	864	883	900	1000	各年4月1日現在
②	加入率（％）	1.55	1.43	1.45	1.46	1.5	会員数÷60歳以上人口×100
③	登録受講者数（人）	1416	1404	1388	1400	1500	各年4月1日現在

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数及び受講者数を増加させるため、教室運営に当たっては、団塊の世代の方のニーズを把握し、それを反映していく必要がある。 ・シニア世代の「学びの場」として、シルバー大学の周知の方法を検討する。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	会員数の拡大に向け、活動等の周知を支援していく。	窓口に来た区民の方へPRを行う等活動の周知に努めた。	引き続き会員数の充実・拡大に向け、活動等を周知することで支援していく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	引き続き会員数の拡大に向け、活動等の周知を支援する。

況議会（要質問状）	平成16年四定 元気な高齢者の社会参加、生きがい活動の支援策について
-----------	------------------------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	07-03-03	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	シルバー人材センター管理運営費等助成	部課名	福祉部高齢者福祉課	課長名	谷井	担当者名	松本
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-05-01	管理運営費等助成費	内線	2661			
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	○それ以外の継続事業			
開始年度	●昭和 ○平成 62年度		根拠	荒川区シルバー人材センター事業補助金交付要綱・高齢者の雇用の安定等に関する法律			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	●法令基準内 ●都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画			
行政評価事業体系	分野	I 生涯健康都市					
	政策	02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成					
	施策	01 高齢者の社会参加の促進					
目的	荒川区シルバー人材センターの事業に要する経費の一部を助成することにより、同センターの安定的な経営を確保し、もって高齢者の福祉の向上に寄与する。						
対象者等	公益社団法人荒川区シルバー人材センター						
内容	<p>公益社団法人荒川区シルバー人材センターは地域の高齢者が助け合いながら楽しく働くことによって、高齢者の就業を通して福祉の増進を図りながら自主的に運営する団体であり、地域社会に密着した臨時的かつ短期的仕事を家庭、事業所、公官庁等から引き受け、これをシルバー人材センターに加入している会員の希望や能力に応じて提供している。</p> <p>この人材センターの安定運営を確保し高齢者の福祉の向上をさせるため、区は、事業に要する経費の一部について補助金を交付している。</p>						
経過	<p>平成11年度より、荒川区立高齢者就業センター・荒川授産場・児童交通誘導業務の管理運営を委託。平成11年度～13年度の間、事務の移行を円滑に進めるため区職員を派遣し、事務局職員体制の強化を図った。</p> <p>平成11年度 区派遣職員 3人 事務局長（課長職）・次長（係長）・職員（事務職）</p> <p>平成13年度 区派遣職員 1人 次長（係長）</p> <p>平成14年度 14年4月1日公益法人派遣法施行に伴い、区職員の派遣を廃止</p> <p>平成17年度 経営基盤強化補助を追加（単年度） 3,734,000円</p> <p>平成23年度 公益社団法人化</p> <p>平成25年度 「補助金交付要綱」を一部改正</p>						
必要性	健康で働く意欲を持つおおむね60歳以上の高齢者を対象に、その知識、経験、能力を活かして働く機会の確保に努め、高齢者の就業や社会参加の促進に寄与している。						
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 ○常勤 ●非常勤 ○臨時職員）</p> <p>区はシルバー人材センターに補助金を交付し、都補助対象分について都に請求・受領する。なお、国補助については、都シルバー人材センター連合を通じて、直接シルバー人材センターに交付される。</p>						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算額		49,173	49,368	48,256	50,677	50,613	51,107	50,883
①決算額（27年度は見込み）		36,850	36,305	37,646	49,033	46,501	42,669	50,883
②人件費等		896	820	799	790	1,913	2,163	
③減価償却費			668	715	754	777	910	
【事務分担当】（%）		25	23	23	23	23	28	
合計（①+②+③）		37,746	37,793	39,160	50,577	49,191	45,742	50,883
特定財源	国							
	都	シルバー人材センター運営補助	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495
	その他	シルバー人材センター運営資金貸付金返還金	3,200	3,200	0	3,200	3,000	3,000
一般財源		22,051	22,098	26,665	34,882	33,696	30,247	35,388
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	年度末会員数（人）	1,688	1,754	1,820	1,751	1,655	1,621	1,710
	就業延べ人数（人）	227,489	238,781	239,188	233,322	229,043	234,746	240,000
	契約金額（千円）	690,788	718,770	770,330	644,775	624,387	666,499	681,720
	就業率（%）	75.9	76.4	75.8	79.8	80.1	79.7	78.0

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	人件費	47,793	負担金補助等		39,669	負担金補助等		47,883
	事業費	4,358	貸付金		3,000	貸付金		3,000
	全国SJ協会賛助会費	50						
	※国庫補助金相当額を減額	△8,700						
貸付金	運営資金貸付金	3,000						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	就業実人数	1397	1326	1292	1334	1350	
②	就業率	79.8	80.1	79.7	78.0	80.0	就業実人員/会員数×100
③	就業延べ人員	233322	229043	234746	240000	240000	

（問題点・課題 指標分析）	シルバー人材センターにおいては、平成26年度は、適正就業の推進ならびに安全就業の徹底など就業体制等の環境整備を図るとともに、就業に対する積極的な取り組みを行うことで、減少傾向にあった受託契約数並びに受託契約金額は増加に転じた。徐々にではあるが、就業機会確保を推進した結果が表れてきたと思われる。しかし、民間事業所からの受注件数等については、より一層の増加に努める必要があることから、区として支援する必要がある。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	企業等に対する受注拡大及び会員獲得等のPR活動支援の継続	経費の一部を補助することで、活動の支援を行った。	引き続き、企業等に対する受注拡大及び会員獲得等のPR活動の支援を行う。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	会員の経験を生かした仕事に就けるよう職種の拡大を図る。

況議会 （要質 問旨 問状）	15年二定 15年三定 16年一定 16年四定 17年一定	高齢者の雇用の確保・拡充について
-------------------------	---	------------------

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	高齢者生活援助サービス事業費	1,176	負担金補助等		1,048	負担金補助等		1,243

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み	目標値(28年度)	
①	受託件数	6369	6186	6361	6500	6700	
②	契約金額(千円)	644775	624387	666499	681720	700000	
③	民間契約金額(千円)	269516	255374	268204	273640	300000	契約金額内訳

(問題点・課題分析)	会員に対する就業機会の拡充を図ることが課題であることから、シルバー人材センターの職員体制の充実を支援することが必要である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	企業等に対する受注拡大及び会員獲得のPR活動の支援継続	職員体制の支援を行った結果が、徐々にではあるが表れてきた。	引き続き支援する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	継続	就労機会の増加を図るため、職員体制の支援を行う。

況議会(要質問旨)	15年二定 15年三定 16年一定 16年四定 17年一定	高齢者の雇用の確保・拡充について
-----------	---	------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	07-03-05	戦略プラン	○協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	荒川授産場管理運営	部課名	福祉部高齢者福祉課	課長名	谷井
		担当者名	松本	内線	2661
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-01-01	荒川授産場事務費			
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	○それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成	55年度	根拠法令等	社会福祉法・生活保護法・荒川区立荒川授産場条例・荒川区立荒川授産場規則・要綱	
終期設定	○有 ●無	年度			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画	●非計画
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市		
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		
	施策	01	高齢者の社会参加の促進		
目的	一般の企業に就職することが困難な高齢者や生活困難者に設備と仕事を提供することにより、健康の保持や生きがいがづくりに寄与するとともに、生活安定の一助とする。				
対象者等	1 60歳以上の荒川区民、2 生活困難者、3 その他区長が適当と認めたもの ※2及び3に該当するものは収入基準あり…利用申込者の属する生計中心者の収入については、地方税法に規定する市町村民税の所得割が90,000円未満であること。				
内容	<p>施設の概要</p> <p>1 所在地 荒川区東尾久4丁目3番7号</p> <p>2 延床面積 1088.52㎡（このうち、534.92㎡が授産場部分）</p> <p>3 構造等 鉄筋コンクリート造り 地上3階・地下1階</p> <p>4 施設内容 作業室・利用者休養室（施設3階部分）</p> <p>5 定員 場内29名・居宅58名（平成25年度末現在の利用者数 場内21名、居宅0名）</p> <p>6 開設日 平成5年4月6日「高齢者就業センター」落成。平成11年同センターへ授産場移転。</p> <p>○一般の企業に就職することが難しい高齢者や生活困難者に対する設備と仕事の提供を行う。</p> <p>○平成19年度以降は、利用者の高齢化、希望者の減少、仕事の持ち帰りの安全確保の理由から、場内作業のみとしている。</p> <p>○団体登録をしている高齢者団体等に対し、会議室の貸出を行う。</p>				
経過	<p>昭和55年3月1日 東京都から事務移管（施設所在地 荒川区東尾久5丁目4番11号）旧授産場譲渡を受ける。（20年間の用途指定あり）</p> <p>平成11年度 授産場の管理運営の一部をシルバー人材センターに委託。同時に、高齢者就業センター内（現所在地）に移転。旧施設は当分の間授産場倉庫として使用。</p> <p>平成13年度 区派遣事務職員廃止、シルバー人材センター非常勤職員が対応。</p> <p>平成14年度 区派遣職員 場長（シルバー人材センター次長、就業センター所長兼務）廃止</p> <p>平成18年度 就業センター廃止に伴い会議室を加える</p> <p>指定管理者制度を導入（指定管理者：シルバー人材センター）</p> <p>平成21年度 指定管理者を5年間延長する。（平成25年度まで）</p> <p>平成26年度 指定管理者を5年間延長する。（平成30年度まで）</p>				
必要性	授産場において、一般の企業に就職することが困難な高齢者や生活困難者に仕事を提供することは、健康の保持や生きがいがづくりに寄与するとともに、生活安定の一助となる。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターに委託する。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
予算額	17,460	17,422	16,719	16,435	16,671	17,137	16,847	
①決算額（27年度は見込み）	16,373	16,503	16,518	16,193	16,018	16,060	16,847	
②人件費等	1,141	1,099	1,072	1,061	1,081	1,391		
③減価償却費		959	1,026	1,081	439	585		
【事務分担量】（%）	35	33	33	33	13	18		
合計（①+②+③）	17,514	18,561	18,616	18,335	17,538	18,036	16,847	
特定財源	国							
	都							
	その他	荒川授産場使用料・授産場事務費	17,539	18,059	18,072	16,435	16,669	18,259
一般財源		-25	502	544	1,900	869	-223	-1,489
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	場内利用者数（年間実働人員）	240	246	241	246	254	235	240
	場内利用者数（年度末見込み）	20	20	20	21	21	20	20
	平均月額支払工賃（1人当たり）	35,231	33,777	34,643	34,870	35,868	43,735	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	人件費	9,217	委託料		16,060	委託料		16,847
	管理費	5,471						
	事業費	567						
	事務費	763						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	場内利用者数（年間実働人員）	246	254	235	240	252	月×実働人数
②							
③							

（問題点・課題 指標分析）	○安定した作業工賃を確保するため、受注先の拡大に努める必要がある。 ○事務移管時の譲渡契約上の用途指定期間（20年）が過ぎ、高齢者向けの授産施設については今後検討する必要がある。
他区の実況	（実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区） 中央区、渋谷区、北区、足立区、葛飾区 江戸川区は平成20年度末、板橋区は平成23年度末で廃止。

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	授産施設の在り方について検討する。	事務担当者間で現在の状況についての整理・確認を行った。	引き続き検討する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
改善・見直し	改善・見直し	利用者の高齢化や雇用状況を踏まえ、引き続き検討を行う。

議 会 要 旨 問 状	
----------------------------	--